

おうぎろっか ゆきけっしょう
扇六花の雪結晶

くしろめいきこうこう かがくぶ
 釧路明輝高校 科学部

雪の結晶（雪結晶）のうち、六つの枝が六方対称的に発達した結晶は、六花とも呼ばれています。六花の雪結晶は、枝の形の違いから「扇六花」、「広幅六花」、「星六花」、「樹枝六花」、「羊歯六花」、などに分類されます。このうち、「扇六花」の雪結晶では、扇状の枝に稜線模様や畝模様といった雪結晶特有の表面模様をはっきりと認めることができます。雪結晶の形をプラスチックで保存した標本（雪結晶レプリカ）で、観察してみましょう。

